

金沢市内の企業が
応募できる！

「企業で取り組む8つのすすめ」 実践例大募集！

会社で働く皆さんやそのご家族を対象に、子育てや家庭教育について
企業でサポートしている取組があれば、ぜひご応募ください！

★特典★

- 特典① キゴ山プラネタリウム親子ペア招待券 1社あたり10組分プレゼント！
特典② ご応募いただいた実践例を金沢市公式HPや啓発チラシ等の刊行物でご紹介！

※ご応募いただいたすべての企業が対象！

応募期間

令和元年7月20日（土）～10月11日（金）

問い合わせ

金沢市教育委員会生涯学習課 家庭教育振興室
TEL 220-2441 FAX 220-2488
e-mail syougaku@city.kanazawa.lg.jp



「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」を 企業で実践して、特典をゲットしよう!

～ご応募いただいた全ての企業に、以下の特典があります～

特典① キゴ山プラネタリウム親子ペア招待券 1社あたり10組分プレゼント!

特典② ご応募のあった実践例は、金沢市公式HPや啓発チラシ等の刊行物でご紹介!

応募対象

金沢市内の企業・事業所（支店も含む）

応募期間

令和元年7月20日（土）～10月11日（金）

応募方法

応募シート（右ページを切り取って使用してください）に、
①「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」（裏表紙参照）の該当番号
②①で選んだ番号に対する企業での実践例（200字程度）
③住所 ④電話番号 ⑤企業名 ⑥担当部署・担当者名
⑦刊行物への企業名の掲載の可否
を明記の上、メール・FAX・郵送・持参のいずれかでお送りください。
※可能であれば、実践の様子がわかる写真も添付してください。
（写真提出の際は、写っている方の承諾を得たものとしてください）

○応募シートは「かなざわ家庭教育サイト」にもあります。→
パソコンからは「金沢 家庭教育」で検索してください。



応募・問い合わせ先

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1
金沢市教育委員会 生涯学習課
TEL 076-220-2441 FAX 076-220-2488
e-mail syougaku@city.kanazawa.lg.jp

留意事項

- ①応募のあった実践例に係る一切の権利（著作権法第27条及び第28条に定められる権利を含む）は金沢市に帰属します。
- ②応募のあった実践例を「かなざわ家庭教育サイト」などのWeb上・刊行物などへの掲載の際、一部修正を加える場合がございます。
- ③ご提出いただいた応募シートは、返却いたしません。
- ④応募の際にご提供いただいた情報は、本事業においてのみ使用します。

「企業で取り組む8つのすすめ」 実践例応募シート



- 応募シート [応募先]FAX:076-220-2488 E-mail:syougaku@city.kanazawa.lg.jp
〒920-8577 金沢市広坂1-1-1 金沢市教育委員会生涯学習課
- ① 8つのすすめの該当番号を1つご記入ください。 【 】
- ② ①で記入した項目の実践例を200字程度でご記入ください。（1行あたり25字程度）

③住所 〒	④電話番号	
_____	_____	
⑤企業名	⑥担当部署・ 担当者名	⑦企業名の掲載 可・否
_____	_____	_____

【記入例】



8つのすすめの該当番号【④】

〇〇〇〇さんを講師に迎え「子育てと仕事の両立におけるタイムマネジメント」をテーマにお話をいただき、時間管理は自分次第で工夫ができることや工夫のポイントを学びました。参加した社員からは「時間を有効に使えるように時間管理をしたい」「自分を見つめ直すきっかけとなった」等の声があり、社員それぞれが時間をうまく調整して家族との時間を作る意識が生まれ、仕事の効率が上がりつつあります。(231字)

8つのすすめの該当番号【⑧】

毎年、社員の子ども向けに「職場見学イベント」を開催しています。今年は〇月〇日(月)に小学生12名が参加し、工場見学、作業体験、質問タイムを実施しました。いつもとは違うお父さん、お母さんの働く姿を間近で見た子どもたちからは、「私もお父さんみたいに機械を作る仕事をしてみたい」「お母さんはここでお仕事をして、家でも僕たちのごはんを作ってくれて大変だから、今度お手伝いしなくちゃ、と思った」などの感想がありました。(204字)

家庭で子どもを育むための8つのすすめ

金沢市教育委員会では、「金沢子どもかがやき宣言」を実践する子どもを育むため、ご家庭で意識していただきたいことを家庭教育に関する指針「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」としてまとめました。

1 持ち続けよう 子どもとともに 学ぶ姿勢

子どもががんばったことは大いにほめて、お手伝いや学習、読書などに自ら取り組む意欲を伸ばすとともに、大人も「気づき」や「学び」を得る機会を持ちましょう。

2 きちんと守ろう 社会のルール 大人が手本

「子は親を映す鏡」、大人の行動を見ています。自らの行いを通じて、礼儀やマナー、言葉づかいを教え、良くないことはきちんと叱って善悪の判断ができるようにしましょう。

3 声かけよう 笑顔であいさつ 朝一番

自分からあいさつすることで会話が生まれ、家族の絆が強くなるとともに、地域の輪も広がります。笑顔のあいさつに心がけましょう。

4 創ろう あたたかい家族のふれあい

子どもに笑顔で接し、心によりそい共感すると、子どもは安心感を持ち、前向きに考えることができます。家族のふれあいや会話を大切にしましょう。

5 大切にしよう 思いやりの心 すべての命

子どもが受けた思いやりは、子ども自身の思いやりの心、ゆずりあいの心につながります。自分や他者の生命の尊さを伝えましょう。

6 伝えよう 心のこもった「ありがとう」

「ありがとう」と言われたうれしさは、人やものに感謝する心を育みます。日頃から、子どもに感謝の言葉を伝えましょう。

7 育もう 子どもの健康 「早寝 早起き 朝ごはん」

規則正しい生活リズムと食習慣は、一日のやる気と元気の源です。基本的な生活習慣と外遊びや運動で、たくましい心と体を育みましょう。

8 支えよう 子どもの夢と可能性

家族は子どもの一番の応援団です。いろいろな体験を通してチャレンジ精神やあきらめない心を育み、夢に挑戦する姿勢を温かく見守りましょう。



金沢市学校教育振興基本計画に掲げる「めざすべき金沢の子ども像」をもとに、市内の中学生が「金沢子どもかがやき宣言」を制作し、子どもたちの考え方や行動の基本的な約束事を示しました。

「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」は、この宣言のそれぞれの項目に対応させて策定しました。